

富士市議会議長

令和3年9月3日
富士市議会議員 小池義治

富士市議会基本条例第9条第3号の規定に基づく文書質問を、下記のとおり行いたいのでお願いします。

1. 無症状者への新型コロナウイルス検査の拡充について

新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の再開に向けて、ワクチン接種の進展とともに欠かせないのが、検査の拡充と早期隔離・療養であると考える。令和3年7月以降大きな流行期においては、感染経路不明の割合が増えており、市民に不安が広がっている。今後の、安全・安心な社会経済活動の再開のためには、新型コロナウイルス検査の拡充が必要と考え、以下、質問する。

(1) 医療圏を同じくする富士宮市では、「市民の不安解消、社会生活インフラ事業所の安定的な運営支援などを目的に、一定の条件を満たす希望者に対して、PCR検査費用の一部または全額を補助する」としている。本市においても、同様の取組みを行ってはどうか。

(2) 東京オリンピック・パラリンピックや全国高校野球選手権大会においては、参加者全員への定期的な検査の徹底をもって安全・安心な大会としていた。今後、富士市立の小中学校および富士市立高校での修学旅行などの重要な学校行事において、何重にも講じる感染防止策の一つとして、参加者への新型コロナウイルス検査を実施できないか。

(3) 昨年度の成人式では、西伊豆町や小山町では対象者に抗原検査キットを送り、それぞれが検査を終え陰性であることをもって出席可能としていた。令和3年度の富士市成人式では、実施に向けて様々な感染防止策を組み合わせる中の一つとして、検査希望者に対し抗原検査キットの配布ができないか。

2. 小長井市長の2期目の公約達成度について

小長井市長が平成29年12月24日執行の富士市長選で再選されて3年8か月が経過した。その時の選挙公報では、「まちに元気を」として7項目、「ひとに安心を」として8項目が掲げられ、最下段に中核市について言及されているが、そのうち下記4項目について、3年8か月でのアウトカム（得られた成果）と、成果達成のために市長自身がどのようなリーダーシップを発揮したのか伺う。

- (1) 「田子の浦港周辺の賑わいづくり」について
- (2) 「交通弱者にやさしい公共交通ネットワークの構築」について
- (3) 「富士市立中央病院の建て替え」について
- (4) 「中核市への移行を目指し、市民の皆様との議論・検討を本格化させます」について、市長は平成31年1月15日の記者会見で、中核市移行を「検討の継続」と発表したが、その後どのような検討がされ、現時点ではどう考えているか。

平成29年12月24日執行

富士市長選挙公報


富士市選挙管理委員会

2期目への挑戦 市民と共に創る『生涯青春都市』
この流れを止めてはならない!!

経歴 ●平成9年12月～平成25年6月 富士市議会議員 ●平成26年1月～富士市長

まちに元気を	ひとに安心を
<ul style="list-style-type: none">● CNF関連産業の振興と新たな工業団地の整備● 富士のお茶、田子の浦しらす、富士ひのきの販路拡大● 富士山の玄関口(新富士駅南・北口、富士駅北口)整備● 田子の浦港周辺の賑わいづくり● 総合運動公園内に総合体育館、宿泊施設の整備● 2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致、文化プログラムの実施● 富士川緑地右岸(野球場) 左岸(多目的利用)の整備	<ul style="list-style-type: none">● 万全の津波対策の実施 ●ユニバーサル就労の推進● 少子化対策と子育て支援(結婚～出産～子育て)● 魅力ある学校教育(小中一貫教育、いじめのない学校)● 高等教育機関(大学、専門学校など)の誘致● 地域包括ケアシステムの構築● 交通弱者にやさしい公共交通ネットワークの構築● 医療費助成制度の対象を高校生まで拡充● 富士市立中央病院の建て替え

そして、中核市への移行を目指し、市民の皆様との議論・検討を本格化させます。



小長井よしまさ
62才